名古屋市立大学病院

病院長名 松川 則之 〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 所在地

地下鉄:桜山駅下車3番出口 直結

市バス:「市立大学病院」または「市立大学病院」下車 交通案内

■ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関 として日々安全で開かれた医療を提供しています。

近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用す る集学的な治療を行っています。今年度には3台目の手術支援ロボッ トが稼働予定で、最先端の医療をすべての領域で提供しています。ま た、がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度 急性期病院・特定機能病院として役割を果たしています。さらに、教 育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

■ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムは名古屋市立大学病 院を基幹施設として、都会あるいは地方拠点病院からなる 20 の連携 施設、さらに地域協力施設、都会診療所、地方診療所から構成されて います。このほとんどが名古屋市内を中心に愛知県内にあります。こ の研修施設群において、ロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端 医療、泌尿器腫瘍、尿路結石症、小児泌尿器科、女性泌尿器科、排尿 障害、生殖医療などの領域を専門的に実施しています。まさに泌尿器 科領域のすべてを網羅した、専門医になれる環境を用意しています。 <研修モデル>

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムでは専攻医 4 年間で 年次毎の研修目標と修練の内容を以下のように主に 3 パターンに設 定しております。大学院進学は希望に合わせて行います。

1 連携病院 → 大学病院 → 連携病院

大学病院 → 1~2施設の連携病院

1~2施設の連携病院 → 大学病院

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHP を参照 http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html





主な連携施設

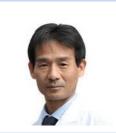
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、西部医療センターおよ び、みどり市民病院。みらい光生病院、安城更生病院、豊田厚生病院、 海南病院、江南厚生病院、豊川市民病院、大同病院など全 18 施設を 擁しています。

■ メッセージ

泌尿器科 部長 安井 孝周

日本をリードする泌尿器科医を目指そう!

泌尿器科専門医は、人として生まれる前の 精子の段階から小児、成人にいたるまで様々 な泌尿器疾患を診断、治療する診療科です。 我が国の高齢化にともない、排尿障害、尿路 性器悪性腫瘍、慢性腎疾患などが増加し、泌 尿器科のニーズはますます高まっています。 当プログラムで全世代の診療を経験し、世の 中の全ての患者さんのためにがんばりまし



ロボット手術は、保険適応前の2011年より開始し、基幹施設では4台のロ ボットを運用、連携施設のほとんどが導入しています。内視鏡手術は、尿路結 石を中心に国内随一です。小児泌尿器科、男性不妊など、特徴ある診療も本プ ログラムの特徴です。

診療技術のみならず、発表、研究の機会を設け、日本の泌尿器科を将来リー ドする人材を育成することを目標にしています。

■ 募集要項 ※名古屋市立大学病院で勤務する場合

_	
・採用予定人数	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の
・休用アル人奴	メート 人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	357,900 円~436,200 円
	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000 円~34,000 円
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、
	厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	管理課 医療人連携・育成支援係 担 当 者
	担 当 旬 専攻医募集担当
	電話番号 052-858-7527
	Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp